

1 いちがう

おひさまだより

令和5年1月6日発行 文責：園長 有好恵子



Happy New Year

あけましておめでとうございます。

今年もおひさま森の子どもたち、保護者の皆さま、そして職員が皆、息災でありますように。そして、コロナウイルス感染症が終息して、マスクなしで笑い合える一年になるよう心より祈ります。本年もどうぞよろしく申し上げます。

一年の計は元旦にあり 私事ですが、昨年の元旦は、思い立って家族11人で旭岳に行きました。旭岳は吹雪いていて、ロープウェイに乗っても真っ白で何も見えず、ご飯を食べてすぐに帰ってきました。そして、昨年一年を振り返ってみれば、何と10回も旭岳に行っていました。「一年の計は元旦にあり」とはよく言ったものです。なのに今年の元旦は寝正月でゴロゴロとして終わってしまいました。今年はどうなるのやら、先が思いやられる元旦となりました。

今年の抱負 例年、保育園のことでしたが、今年はソフトチェンジして自分自身の抱負を書きます。昨年、「10回も旭岳に登ったんですね」と言われるとちょっと違います。実は、自然探勝路・姿見・裾合平などへ行き、一度も頂上までは登っていません。今年こそは登頂を目指します！昨年、職員と保護者の方で姿見散策に行きましたが、今年はまた呼びかけさせていただきますので、是非一緒に山に登りましょう！！

1月の予定

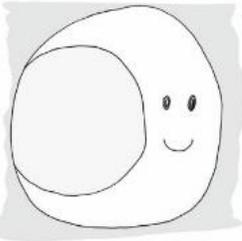
- 6日 1年生交流会
- 11日 内科検診
- 31日 避難訓練

〈参観日〉	17日ぞら組	19日めばえ組
	20日つぼみ組	24日はな組
		26日ほし組

*内科検診の結果ですが、問題のない方へはお知らせしませんのでご了承ください。

今後の予定…2月1日～10日 年長のみ就学に向けての個人懇談があります。

本当は満月



三日月のように見えます

※今、子育てに悩んでいるお父さんやお母さんにこそ知ってほしい考え方です。最近の研修会で勉強しました！！
「満月理論」
夜空を見上げると、日によって三日月が浮かんでいることがあります。でも実は「三日月」という形の月はありません。月はもともとまん丸の「満月」です。地球からだ、太陽の光の反射具合で月が欠けて見えるのです。つまり、三日月に見えるのは人間の認識の世界だけのこと。月はもともとまん丸で「完全で完璧な存在」なのです。

さて、それをそっくりそのまま人間に置き換えてみましょう。教師や保育者が偏った見方で「欠けている月」という目で見ると子どもはのびのびと成長していくことは出来ません。まして、親が「欠けている月」と思うならば、親も子どもも不幸になってしまいます。親の気持ちとして「欠けている部分を補ってあげたい」「足りない部分を足してあげたい」という気持ちは良く分るのですが、足してもきれいな丸にはなりません。そもそも付け足す必要はないのですから。「満月理論」のように子どもを完全な人と思えたら、接し方も変わっていくと思います。そして、子どもは自己肯定感が育ち、自分に自信を持つようになるのだと思います。素敵な理論だなぁと思い皆さんに紹介しました。



クリスマス会が開催されました 行事は大人が子どもを楽しませるのではなく、子どもが主体で行うという方法に変え、何年か経ちました。先月のクリスマス会では、企画から実行まで年長が考えて行いました。まずは年長の『あわてんぼうのサンタクロース』の歌と踊りから始まり、年長が小さい子をソリに乗せてホールを1周してあげます。ソリに乗るのが嫌で泣いてしまう子、ニコニコ笑顔で喜ぶ子、どちらも可愛らしい姿でした。大きい人たちはソリリレーの対抗戦！負けるのが悔しい人もいたけど大いに楽しみました。そして、年長が内緒で作ったサンタとトナカイのオーナメントをみんなにプレゼント！心がこもった会でしたよ。



給食は、おひさまの森名物の丸鶏のロースト！！
「ここが胸で、あしで…」と部位を言いながら切っていました。みんな興味津々です。鶏の命をいたでていることのありがたさを身近に感じる事が出来ました。心も身体も満たされた一日でした☆彡

* * * * *



